

発掘ニュース

2月5日更新

境谷遺跡

国分町字境谷

調査は終了しました。1月27日に現地説明会を開催したところ、好天にもめぐまれて、90名の方に参加していただきました。
現地説明会資料はこちら(PDFファイル)からどうぞ。



現地説明会の様子(1)



現地説明会の様子(2)

国分北遺跡 (5次)

国分町字野田

倉庫の建築に伴う小規模の発掘調査です。柱穴が検出され、掘立柱建物が3棟程度建ちそうですが、調査範囲外に広がっているため詳細な規模は不明です。



調査区全景



柱穴から瓦と灰釉陶器碗が出土

平田遺跡 (17次)

弓削一丁目

個人住宅建築に伴う発掘調査です。土坑がいくつも重なり合って見つかりました。土坑の一つからは土師器高坏が2個まとまって出土しています。土壇墓か古墳の周溝の一部かもしれません。また、大きな方形の掘り方を持つ井戸も見つかっています。



土坑から土師器が出土



井戸跡を掘削中

保子里8号墳

国府字井口

調査は無事終了しました。しかし、残念なことに連絡の不徹底により、保存される予定であった墳丘の東側部分が、工事の際に整地されてしまいました。すでに、主要部分の調査は終わって盛り土だけの存在ではありましたが、残り少なくなった古墳群の一部が失われたのは大変残念です。ただちに事業者と協議を行い、今後さらに連絡調整を密にして、残された遺跡の保護をはかっていくということになりました。



8号墳の痕跡，奥の林は7号墳

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

1月5日更新

保子里8号墳

国府町字井口

主体部と期待していた掘り込みは、悲しいことに計画的に掘られた盗掘穴でした。出土した遺物も周溝からの須恵器短頸壺1点のほかは、土師器・須恵器の破片・鉄製刀子（ナイフ）の残片が出土したのみに終わりました。

12月10日に現地説明会を開催しました。急なことで、呼びかけは地元へのチラシ回覧とホームページへの掲載だけでしたが20名の方に参加していただき、熱心に見学していただきました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル)からどうぞ。



主体部のはずが盗掘坑でした。 現地説明会の様子。

保子里遺跡 (5次)

国府町字井口

保子里8号墳から道を挟んで西側に病院附属の託児所が建てられることになりました。試掘調査を行なったところカーブした溝1条、長楕円形の土坑2基が見つかり、部分的に本発掘調査としました。溝からは土師器の甕の破片が見つかり古墳周溝で間違いないようで、新発見の保子里19号墳となります。土坑の1基からは副葬品の須恵器蓋坏が出土し、土坑墓であることが確認できました。



古墳周溝。

古墳時代の土坑墓。

境谷遺跡

国分町字境谷

最近にない大規模な発掘現場でしたが、最後のB工区の空中写真撮影を22日に終えて。調査はひと段落しました。現在カマドのたち割などの補足的な調査を行なっています。掘立柱建物25棟以上、竪穴住居80棟以上という複雑な遺構の分析と主要な遺物の整理を行なって、現地説明会を1月27日(土)に開催する予定です。



B区の全景です。



ラジコンヘリで撮影を行ないます。

八重垣神社遺跡

十宮町

神戸中学校移転用地の試掘調査です。試掘坑をいくつもあけて遺構の有無を確認しています。弥生時代や中世の遺物を含む落ち込みがたくさん見つっていますが、河川の氾濫による堆積と削平が複雑なため遺構としてのまとまりを捉えるのに苦労しています。



旧河道の断面を調べています。
上層で弥生後期の遺物が出ています。

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

12月5日更新

保子里8号墳

国分町字境谷

周溝の調査はほぼ終了し、一辺が15mほどの方墳であることが分かってきました。南側の周溝の肩からは完形の須恵器短頸壺が出土しています。主体部はどうやら木棺直葬の墓坑が2基並んで存在するようで、いよいよ調査は核心に迫ります。現地説明会を12月10日午後1時半から実施する予定です。

また、隣接した保子里遺跡においても建物建築に伴う小規模な調査を行う予定です。



墳丘断面です。黒色土の旧表土の上に土が盛られています。



須恵器短頸壺が出土。

境谷遺跡

国分町字境谷

新たに始まったC工区は、遺構の残りはあまり良くありませんが、遺構が密集して見つかっています。特に飛鳥・奈良時代頃の掘立柱建物がある程度の企画性を持って建てられていることが分かってきました。弥生時代の竪穴住居も次々掘りあがっています。



掘立柱建物。



弥生時代の円形竪穴住居。

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

11月5日更新

保子里8号墳

国府町字井口

鈴鹿回生病院への進入道路の東側にある古墳です。現在、道路はこの古墳を迂回するように曲っていて見通しが悪く、小さな事故が多発しているため、墳丘の西面を削って曲線を緩やかにする工事を行うものです。現在は古墳墳丘の測量を行なったところです。古墳は一辺10m弱で、墳丘の高さが1mほどの方墳とみえています。墳丘の南側が土取りで大きく抉られています。墳頂部までは掘らないので埋葬主体まで到達できるかは微妙なところです。



着手前の状況です。



除草が済み墳丘の形がはっきりしました。

伊勢国府跡（21次）

広瀬町

室内作業で、図面・写真の整理を行っていたところ、検出された北限の東西溝から、南に南北方向の溝が伸びている可能性が認められたため、追加で拡張調査を行ないました。残りは決して良くないものの南北溝が2条検出され、その間が2.4m離れています。今までの街路1.2m説とは合致しません。真南には政庁が存在するのでこの街路が、中心として広いのかも知れません。また新たな課題が増えました。



新たに検出された東側の溝です（北から）。



西側の溝です（北から）。

境谷遺跡

国分町字境谷

A工区は写真測量用の空中写真撮影も済んで終了しました。新たに始まったC工区は、遺構検出作業と一部の遺構掘削作業が進められています。C区には竪穴住居も多いのですが、それ上に柱穴がびっしり検出されていて、どのように結んだら一軒の建物になるのか調査員は略測図とにらめっこです。



C区は遺構の検出と記録が大変です。



磨製石斧が出土しました。

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

10月5日更新

南山遺跡（4次）

河田町

すずのね作業所の駐車場の整備に伴う発掘調査です。3次調査で確認された環濠と思われる溝の続きが確認できました。工事で掘削されるのは地表から30cmほどなので、この溝はこれ以上削られる恐れが無いので、一部にサブトレンチを入れて断面の形と堆積状況を記録するのみに留め埋め戻します。サブトレンチからは弥生時代後期の脚付壺が2点ほど出土しています。



調査区全景，黒い部分が環濠です。脚付壺が出土しました。

伊勢国府跡（21次）

広瀬町

現場での作業は終了しました。調査指導委員会に向けて図面等の整理をしています。

境谷遺跡

国分町字境谷

調査対象面積8,000㎡のうちA工区2,500㎡の発掘作業がほぼ終了して、記録作業が急ピッチで進められています。検出された遺構は竪穴住居35棟，掘立柱建物3棟ほどです。うち12棟は弥生時代中期のもの，16棟は古墳時代後期のものであることが確認されています。

新たに，C工区の遺構検出作業もはじまっていて，こちらは掘立柱建物が多く検出されているようです。



重複する竪穴住居。



掘立柱建物

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

9月5日更新

西川遺跡（2次）

国分町字境谷

密集する土坑に苦戦しながらも、ようやく終了しました。事業者さんには日程調整などで並々ならぬご協力をいただきました。

3基目の達磨窯には、大量の瓦が廃棄されていました。中にはどのように使われたのか不明の道具瓦やへら書きのある瓦も含まれています。



密集する中世の土坑。



掘立柱建物。



瓦が詰まった窯跡。



ラジコンヘリで写真を撮って測量します。

伊勢国府跡（21次）

広瀬町

東西溝は予想のとおりに見つかりましたが、南北溝については良く分かりません。ただ、両者が交差すると予想される地点付近からは瓦片がまとまって出土していますので何等かの施設があった可能性は高いようです。調査区の西側からは、巨大な土坑も見つかっています。



東西溝。



土坑。

境谷遺跡

国分町字境谷

作業員も入り、遺構検出作業が進められています。竪穴住居が多数と掘立柱建物が見つかっています。遺構の残り具合があまりよくないにもかかわらず、複雑な切りあい（重複）関係がみられるので調査員は検討と記録作業で大忙しです。



竪穴住居がたくさん出ています。

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

8月5日更新

西川遺跡（2次）

郡山町字野口

調査は終盤にかかりました。調査区の南西側は残りがよく飛鳥時代～奈良時代の竪穴住居が見つかりました。また北西側ではたくさんの土坑がひしめき合うように見つかりました。いくつかの土坑には完形に近い山茶碗が入っていて、鎌倉時代のものとみられます。

7月29日（土）には現地説明会を開催し約40名の方の参加がありました。現地説明会資料はこちら(PDFファイル)からどうぞ。



円面硯も出ました



現地説明会の様子

伊勢国府跡（21次）

広瀬町

7月31日から表土除去作業に取り掛かりました。調査地は遺跡北端にある森「金藪」のすぐ南側です。狙いどおりなら方格地割の東西溝と南北溝が交差して出てくるはずです。



表土除去作業



東西溝？

境谷遺跡

国分町字境谷

鈴鹿市リサイクルセンター第2期工事に先立つ調査が始まりました。昨年実施した試掘調査では弥生時代～古墳時代の集落が見つかっています。今年度は約8,000㎡、全体では20,000㎡以上を調査する久しぶりの大規模発掘です。



表土除去に取り掛かりました。

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

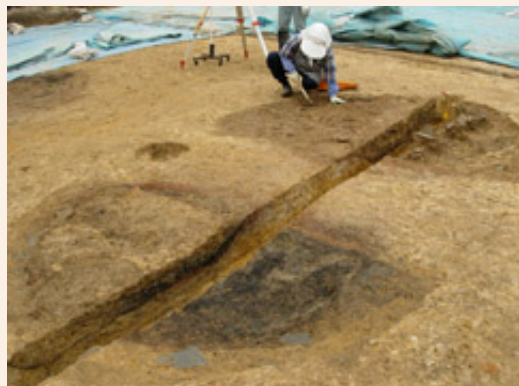
7月5日更新

西川遺跡（2次）

郡山町字野口

宅地造成に伴う発掘調査です。柱穴がたくさん見つっています。柱穴の並びから掘立柱建物が多数建っていたことがうかがえます。

また、近世の瓦を焼いたダルマ窯の基礎部分が見つかりました。時代は新しいものですが郷土の産業史を考える上で貴重な資料となりそうです。



ダルマ窯の跡



作業風景

富士遺跡（2次）

国府町字富士

集合住宅建設に伴う発掘調査です。調査の結果、150㎡ほどの狭い調査区ながら、弥生時代の方形周溝墓の一部とみられる溝、奈良時代前半の竪穴住居3棟、飛鳥時代の土壇墓1基、時期は不詳ですが鋳造を行なった炉1基、中世の溝などさまざまな遺構が複雑に重なり合って検出されました。

炉の埋土からは金属製品の鋳造に使われたと見られる鋳型が出土しました。破片のうちには、何等かの模様が彫りこまれたものもありますが、何を造る為のものかは分かっていません。



調査区全景（竪穴住居）



土壇墓

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)

発掘ニュース

6月5日更新

国分北遺跡

国分町

工場の基礎部分のみの調査でした。柱穴が41基検出されて、少なくとも平安時代の掘立柱建物2棟、塀1条、鎌倉時代以降の建物2棟以上が建っていたと見られます。



北辺調査区（東から）



南辺調査区（東から）

平田遺跡11次調査

弓削一丁目

第9次調査後に行なわれた宅地造成地の住宅建築に伴う発掘調査です。宅地南北2棟分の調査区から、奈良時代の掘立柱建物2棟と柵、飛鳥時代頃の竪穴住居1棟、中世の溝2条が見つかりました。



中世溝検出



掘立柱建物

平田遺跡12次調査

平田本町一丁目

第1次調査後に行なわれた宅地造成地内の住宅建築に伴う発掘調査です。方形周溝墓1基、1・2次調査で見つかった掘立柱建物の南東隅の柱が見つかり、東西9間×南北3間の長大な建物であることが確認できました。また、これまでの調査で、推定復元されていた古代官道の側溝も見つかります。



古代道路側溝



方形周溝墓

平田遺跡13次調査

弓削一丁目

第11次調査区のすぐ南側の住宅建築に伴う発掘調査です。中世の井戸1基と溝1条が見つかりました。溝は井戸を迂回するように巡っています。



井戸



調査区全景

[TOPに戻る](#)

[過去のニュース収蔵庫](#) [現地説明会資料収蔵庫](#)

[ホームページに戻る](#)